

| 番号 | 年月日 | 種別 | 地区名 | 担当部 | 担当課 | 参加者発言趣旨 (タイトル) | 内容(要旨) | 懇談会での回答(現状・取り組み状況等) |
|----|---------|-------|------|-------|-------|-------------------|--|---|
| 1 | R1.5.20 | 市政懇談会 | 花巻中央 | 生涯学習部 | 生涯学習課 | 新花巻図書館移転について① | 新花巻図書館の建設候補地や整備内容(想定する機能)や建設する時期などについて、地区の住民として、とても関心がある。現時点での状況で構わないので、御説明をいただきたい。整備や運営に、地域としても何かしら協力できることがあればと考えている。 | <p>本年1月に、市役所庁内の関係部署の職員から組織する「新花巻図書館整備推進プロジェクト」を立ち上げ、建設場所等の検討を進めているところである。新しい図書館は、花巻市全域の中央図書館としての機能も求められていることから、旧三町地域や郊外からも来ることが容易で、また、子どもたちや高校生の学習の場として利用されやすい場所への建設が重要との観点から、「花巻駅東口周辺」を建設場所の候補地と考えている。現時点では、JR東日本が所有する駅に隣接する区域が最適と考えており、JR東日本と交渉をしている段階である。近くには市が所有する駐車場として使っている敷地もあるが、図書館を建設すれば、当然駐車場も必要になるので、できれば駐車場敷地に図書館を建設したくない。平成29年度に、新図書館整備に関する基本構想を定めたところだが、具体的な内容については、まずは建設場所が決まってから、「新花巻図書館整備基本計画」を策定していく中で、施設の規模、機能等について、専門家の意見をお聞きするとともに、市民の皆様からご意見も聞きながら、進めていきたいと考えている。</p> <p>新花巻図書館は、国の支援も得る必要があり、基本設計ができた後で、国との話し合いを進めなければならない。国との協議後、実施設計に入り、建設はその後となる。なるべく早く造りたいが、国との話し合いや建設にどれほど時間がかかるのかで違ってくる。現時点で後数年で出来るとは言えない状況。</p> |
| 2 | R1.5.20 | 市政懇談会 | 花巻中央 | 生涯学習部 | 生涯学習課 | 新花巻図書館移転について② | 新花巻図書館を現在の候補地に作った場合に、花巻駅の駐車スペースは現状と同等の台数を確保できるのか。 | <p>具体的に場所や構造、図書館の大きさは決まっていないが、現在の候補地で図書館利用者の駐車台数も必要になるので、立体化の必要も含めて検討しているところである。</p> <p>具体的に場所や構造、図書館の大きさは決まっていないが、前述の候補地で進めた場合、花巻駅の駐車場はそのまま残る。そのうえで図書館のスペースに不足が生じるか検討している。JR東日本との関係は良好だが、検討には時間がかかる。できるだけ早めにほしい道の筋を決めたいところであるが、図書館だけでなく、他の付帯施設の可能性も含めて、現在やり取りをしている状況である。</p> |
| 3 | R1.5.20 | 市政懇談会 | 花巻中央 | 財務部 | 契約管財課 | 「まん福」の活用について① | 地元住民としては、「まん福」が賑やかだった頃を象徴する建物であり、強い思い入れがあり、放置して廃れさせたくないとの思いがある。市中心部には災害公営住宅も建ち、コンビニエンスストア(ローソン)も出来た。総合花巻病院は今年度の竣工予定、花巻中央広場は間もなく完成と伺っている。様々な動きが見える中で、中央にある「まん福」の建物だけが取り残されているような気がする。民間に活用してもらおうなどの何かしらの策がないのか。 | <p>「まん福」跡地の土地と建物については、平成25年度に「花巻の活性化拠点として活用いただきたい」との申し出を受け、土地については58,000千円で取得し、建物については寄付を受けたものである。建物取得後、花巻中央振興センター等としての活用に向けて、平成25年度中に約30,800千円をかけて屋根やトイレの改修、冷暖房設備整備などを行ったが、現行の建築基準法に合致した施設として整備し活用するためには、さらに耐震工事費や消防設備整備費などが必要であり、建築士等の試算によると、集会所として活用する場合でさらに約135,000千円から約200,000千円、店舗として活用する場合でも約80,000千円から122,000千円ほどを要すると見込まれており、仮に建物全部を解体するとした場合でも約22,000千円との試算をいただいている。このように活用にあたっては多額の費用を要する。現時点で具体的な活用策は決まっていないところである。また、過去には民間から利用について問い合わせもあったが、改修費用等の課題等を示したところそれ以上話が進まなかった。さらに、昨年度も、民間より活用について問い合わせがあったが、具体的な進展はみられていない。</p> <p>ただし、現状のままでは建物の老朽化が進行するとともに景観上も好ましくなく、また除草等の維持管理に経費を要していることから、今年度においてこれら改修等に要する経費を示しながら、解体も含めて今後の活用法やあり方について専門家等から広く意見を聞く機会を設けたいと考えている。</p> |

| 番号 | 年月日 | 種別 | 地区名 | 担当部 | 担当課 | 参加者発言趣旨 (タイトル) | 内容(要旨) | 懇談会での回答(現状・取り組み状況等) |
|----|---------|-------|------|-------|-------|-------------------|--|--|
| 4 | R1.5.20 | 市政懇談会 | 花巻中央 | 財務部 | 契約管財課 | 「まん福」の活用について② | 土地の売却は考えていないのか。 | <p>現在、建物があり、土地の活用もされていない状況にあるが、経費をかけてすべき活用方法が見いだせない場合には、解体等を検討し、土地の活用について考えていくべきと捉えている。</p> <p>建物を活かすということであれば、土地を売ることはできない。建物を活かして民間で活用する可能性があるならば、検討する余地があるということ。もともと建物が文化財的にも価値があると取得したものであるため、その活用について皆さんの意見を聞く必要がある。そのうえで、建物にこれ以上お金をかける価値がないとの結論が出るならば、建物を解体して売る、あるいは市の広場の付属として活用する等の可能性、または民間で活用というような次のステップになるだろう。どういう形で皆さんの意見を聞くかということについて検討し、今年度中には手続きを進めたい。</p> |
| 5 | R1.5.20 | 市政懇談会 | 花巻中央 | 財務部 | 契約管財課 | 「まん福」の活用について③ | プロに相談という話を聞いたが、例えばどういう人に相談しているのか、具体的に説明願いたい。 | <p>過去には地元の建築士や東北芸術工科大学の方に相談している。</p> <p>市内の建築士に聞いた後、東北芸術工科大学の教授とその教室の方々に文化財的な建物を活かすことについて検討していただいたが、結論としては類似していた。その上で民間の活用については何件か話があったが、その後は進展していない状況。</p> <p>今は専門家だけでなく企業や市内の方々を含めて発信し、具体的な活用の提案をしてもらえるよう努力していく。</p> |
| 6 | R1.5.20 | 市政懇談会 | 花巻中央 | 財務部 | 契約管財課 | 「まん福」の活用について④ | 東北芸術工科大学の先生方の結論はどんなものだったのか。また、企業などにお願したいというのは、市のお金を出すのではなく、民間企業で活用してもらいたいという方向なのか。 | <p>建築士の試算を前提に具体的に市での活用方法の提案があったが、良い案がなかったという状況。今回の民間から広く意見を聞く事については、民間で活用方法があるのか聞くものである。</p> |
| 7 | R1.5.20 | 市政懇談会 | 花巻中央 | 市民生活部 | 生活環境課 | 旧新興製作所跡地整備について① | コンクリートがらが積まれている現状に、地域住民はどうしても不安を感じている。現時点で市が関与できることはないか、また、今後の動向について、情報はないか教えてほしい。 | <p>旧新興製作所跡地に残置されているコンクリートがらについては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき産業廃棄物の処理に関する指導権限を有する岩手県から「2年以上放置されていることから産業廃棄物に該当する蓋然性は高いものの、土地所有者で旧新興製作所建物の解体工事を発注したメノアース(株)が、“解体工事は中断しているのであって、今後、建物基礎の解体工事を行う予定である”と主張していることから、敷地内に積まれているガレキは解体工事から排出された途中物に位置づけられるため、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきコンクリートがらの処理に関する指導を行うことは難しい。」と伺っている。</p> <p>なお、コンクリートがらを廃棄物として処理する場合は産業廃棄物に該当することから、そのような場合には、排出責任者にてコンクリートがらを適正に処分するよう指導を行っていただくよう、岩手県に対し要請したいと考えている。排出責任者が岩手県の要請に応じず、コンクリートがらを適正に処分しない場合、岩手県は廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、排出責任者に代わってコンクリートがらを処分し、それに要する費用を排出責任者に請求することができるが、コンクリートがらの処分には多額の金額を要すると想定され、排出責任者がその支払いを行うことができるか疑問でもあり、岩手県としても軽々にその権限を行使し、コンクリートがらを処分することはできない可能性が高いものと認識している。花巻市にはそのような法的な権限はない。</p> <p>旧新興製作所建物解体直後にはコンクリートがらから飛散する粉じんなどについての苦情もあったが、その後はその点に関する苦情は聞いていない。</p> <p>旧新興製作所跡地に関する今後の動向については、市では定期的に登記簿情報を確認することにより土地の移動等の把握に努めているが、旧新興製作所跡地を利用した事業展開を行うとの具体的な情報は全くない。</p> |

| 番号 | 年月日 | 種別 | 地区名 | 担当部 | 担当課 | 参加者発言趣旨 (タイトル) | 内容(要旨) | 懇談会での回答(現状・取り組み状況等) |
|----|---------|-------|------|-------|-------|---------------------|---|--|
| 7 | R1.5.20 | 市政懇談会 | 花巻中央 | 市民生活部 | 生活環境課 | 旧新興製作所跡地整備について① | コンクリートがらが積まれている現状に、地域住民はどうしても不安を感じている。現時点で市が関与できることはないか、また、今後の動向について、情報はないか教えてほしい。 | <p>また、旧新興製作所跡地については、平成30年2月23日付けで、盛岡地方裁判所花巻支部から、メノアース(株)の所有となっている旧新興製作所跡地における上部、下部平坦地の6筆、合計23,723.66平方メートルの土地について、不動産強制競売手続きにおける期間入札の公告があり、売却基準価格として1億1千651万円、買受可能価格として9千320万8千円と設定されていたが、開札期日及び特別売却決定期日中に買受人は現れなかった。</p> <p>不動産強制競売手続き公告における買受可能価格は、メノアース(株)から旧新興製作所建物の解体工事を請け負った株式会社光から平成28年6月に当市に売却の提案があったときに提示された売却希望金額の約6億6千6百万円や、旧新興製作所跡地の固定資産評価額を根拠として当市が試算した土地購入費の約1億9千万円を下回る金額となっているものの、コンクリートがらが現地において放置されていること、未だ建物の基礎部分、基礎杭等が撤去されていないといった課題が残されたままであることもあり、そのような低い買受可能価格でも買受希望者は現れなかったと認識している。</p> <p>市が旧新興製作所跡地の完全な所有権を取得するには、土地の取得費のほかに(株)光がメノアース(株)に対し保有している債権3億9千5百40万円5千円と(株)ひまわりホールディングスがメノアース(株)に対して保有している債権5千万円を支払い、差し押さえ等を解除する必要が出てくる。裁判所の記録によると、(株)光とメノアース(株)の間ではその支払いについて現在仙台地方裁判所で訴訟が継続している。さらに、当市の試算によると、旧新興製作所跡地を利用するためには、コンクリートがらや土間・基礎、基礎杭等の除却費用として約6億6千万円、既存擁壁の調査設計費及び補修・改修費用約6億2千万円要すると試算しておりますことから、市では旧新興製作所跡地を取得することについて、市の財政負担とそれに伴い間接的に市民の負担が極めて大きくなる結果となることから、現時点において購入価格が安くなったとしても旧新興製作所跡地を購入することは困難であると考えている。</p> |
| 8 | R1.5.20 | 市政懇談会 | 花巻中央 | 市民生活部 | 生活環境課 | 旧新興製作所跡地整備について② | PCBの問題は、今後どのように進展していくものなのか。 | <p>PCBの廃棄物については市でも週1回現地を調査、目視しており、監視を行っている。また、PCB廃棄物は法令にのっとった保管状況であることを岩手県に確認しており、このことは市でも確認をとっている。</p> <p>PCBを処分できるのは日本国内においても非常に限られている。法律上は数年後実施すればよい。その場合に多額の費用を要するため、仮に数年後まで保管したとしても、この企業に処分する力または意思があるかについては疑問である。処分の問題も将来的には課題となる。</p> |
| 9 | R1.5.20 | 市政懇談会 | 花巻中央 | 建設部 | 道路課 | 里川口エリアの道路、水路の整備について | <p>里川口行政区内の高田地区との境界付近について、先日の火災の際には消防車両が入れず、スムーズな消火活動ができなかったように感じた。何らかの形で道路の整備、改修ができないか。</p> <p>また、その境目を流れる水路は、降雨があると北上川に流れず水が集中し、逆流することが度々あるので、水路の改修についても検討してもらえないか。</p> | <p>水路については、その状況とそれに要する費用について確認し検討する。</p> <p>道路については、花巻市の場合25億円ほど予算をとっているが、市単独での公共工事を行うのは非常に難しい。</p> <p>2、3年前に国から市に想定額を大幅に上回る社会資本整備総合交付金が交付されたが、その際に新しく箇所付けをしたものが残っており、新たに箇所付けすることが難しい状況である。該当の道路については何とかしたいところだが、将来的に可能だとしても、すぐには難しいところである。</p> <p>(→道路課から詳細を本人に確認。)</p> |

| 番号 | 年月日 | 種別 | 地区名 | 担当部 | 担当課 | 参加者発言趣旨 (タイトル) | 内容(要旨) | 懇談会での回答(現状・取り組み状況等) |
|----|---------|-------|-----|----------------|-------------------|----------------------|---|---|
| 1 | R1.5.27 | 市政懇談会 | 好地 | 建設部 消防本部 | 都市政策課 花巻北消防署 | 石鳥谷駅前地区土地区画整理事業について① | 市では今年2月の説明会によると計画の見直し検討を行っているが、計画が廃止になった場合は新たに土地区画等に関する計画策定の見直しがあるのか伺いたい。併せて、好地地区には消防活動困難性地域が8箇所あると伺っているが、市では安全・安心なまちづくりを推進する立場から、今後新たな計画を作成するのであれば新たな計画に対応策を盛り込む考えがあるのか伺いたい。 | 今年の2月から3月にかけて実施したアンケート調査の結果は、区画整理の廃止に賛成が25%程度、反対が20%程度、分からないが35%程度で意見が割れている状況であり、反対の方や現時点では判断が出来ないという方が想定以上に多かった事から、現状を分析して今後の対応を考えていきたい。現時点で、計画の見直しがあるという事ではなく、長期的に検討していく状況と考えている。 消防活動困難性地域には、出動する消防ポンプ自動車の増隊等、消防体制を強化する出動計画を定めている。また、地域の自主防災訓練等を通して火災予防対策、初期消火活動を充実強化するよう指導に取り組んで参りたい。 |
| 2 | R1.5.27 | 市政懇談会 | 好地 | 建設部 | 都市政策課 | 石鳥谷駅前地区土地区画整理事業について② | この計画は、約55年前の計画であり現状に合わないと思う。やはり早期に止めて、現状に合った新たな計画を策定して頂きたいのが、住民の要望と思っている。アンケート調査で意見が割れていたとのことだが、現状に即しているのかを判断出来かねているのではないかと思うが如何か。 | 市も同じ事を考えている。先の説明会においては、計画後50年間で状況が大きく変わっている中で計画事業の実現は難しいとの説明を申し上げたので、計画廃止への賛成意見がもう少し多いと考えていた。アンケートは、地権者と住民を合わせて調査したが、反対の方も20%程度あったので、55年前の計画と現実が違うからと市が勝手に廃止することは出来ない。計画そのものに代わるものが何かあれば、住民の合意を得るのも一つの手順と県からアドバイスを受けている。そういう状況も踏まえ、意見については持ち帰る。 |
| 3 | R1.5.27 | 市政懇談会 | 好地 | 建設部 | 都市政策課 | 石鳥谷駅前地区土地区画整理事業について③ | これまで大分長々と引きずってきた計画を今見直そうとした場合、見直す期限の目安を置いてもらわないとまた長々となるのではないかと心配する。大体どの位の期限で新しいものをつくりたいとか、示せないものか伺いたい。 | なかなか難しい質問だと思う。まずは、アンケートの中身を分析するというのがひとつ。さらに、市が勝手に決めるものではないので、いつまでに結論を出して新たに計画をとる状況にはない。 土地区画整備事業は、地価が上がっている時には非常に有効な手段だったが、地価が各地で下がってきており難しくなっている。石鳥谷においても同様で、55年が経過し、事業予定区域にはコンクリートなどの恒久的な建物を作れないなどの制限があり、この状況をいつまでも続けるのはいかなものかという事で、区画整理事業について廃止することを提案したもの。まずはスタート地点に戻り、道路整備が必要ということであれば、道路整備について話すことは可能と考えたが、分からないという方を含めると廃止に賛成しない方が55%あり、もう少し考えようということになった。 |
| 4 | R1.5.27 | 市政懇談会 | 好地 | 建設部 石鳥谷総合支所 | 都市政策課 石鳥谷地域振興課 | 石鳥谷駅前地区土地区画整理事業について④ | 半世紀以上前の事をこのように表に出していただいたことについては、感謝申し上げます。私が小学生の頃のものだが、この様な計画がある事を今年の説明会まで知らなかった。駅前に3階以上の建物や鉄筋コンクリートの建物が無いこと、大きなショッピングモールが出来ないことなどの理由が分かった。 石鳥谷駅周辺にはまだまだ住宅地になるような場所が沢山あると思うし、駅に近い土地があるというのは、東北本線沿線にはあまり無いと思うので、住宅新築に関わる制限は何とか早めに解消して欲しい。 なお、計画廃止への賛成が少ないアンケート結果については、計画が無くなれば何がかわるのか、逆に計画が続く限りどのようなことが起きるのかということイメージできないのだと思うので、計画を見直す事によってこの様なことが生まれるとか、或いは見直さなければこうなるという何らかの提示があれば、地域住民も協力の手を挙げると思う。 | 建築制限については、例えば、3階建て以上は建てられないなどの制限があり、長期優良住宅が建てられないという実態がある。長期優良住宅が建てられれば有利な融資が受けられるなどメリットがあることも説明会でお話をした。 建築制限のみを切り離して、計画の見直しができないかということについては、建築制限そのものが制度上の縛りであるため、制限を無くすには計画の見直しが必要である。なお、具体的な中身について、住民に提示するべきではないかという意見は、持ち帰り方法を考えている。 ご指摘のご意見があった石鳥谷駅東南部の製材所跡地エリアは、民間事業者が約40戸の宅地分譲をして3年程経過し、何とか着実に家が建てられている状況である。加えて、農協のガソリンスタンド跡地を更地にして公園としている場所を含む10,000㎡を超える隣接の市有地の宅地化を進めたいと考え、民間事業者と情報交換しながら、宅地化できる手法がないか情報収集している。 例えば、矢巾への岩手医大の移転や北上の東芝メモリー一立地などの影響も踏まえながら、特に東北本線沿いの地価の状況が石鳥谷が非常に手頃だという事など情報収集をしながら、検討していかなければいけないと考えている。 |

| 番号 | 年月日 | 種別 | 地区名 | 担当部 | 担当課 | 参加者発言趣旨 (タイトル) | 内容(要旨) | 懇談会での回答(現状・取り組み状況等) |
|----|---------|-------|-----|-------|-------|----------------------|---|--|
| 5 | R1.5.27 | 市政懇談会 | 好地 | 健康福祉部 | 長寿福祉課 | 介護予防・日常生活支援総合事業について① | 日常生活支援総合事業が平成29年4月に開始されたが、市の予定どおりに進んでいるのか、その推進状況と今後どのように進めていくのか見通しについて伺いたい。 | <p>この事業は平成29年度に開始され、介護予防・日常生活支援サービスと一般介護予防事業の2事業からなっている。1つ目の介護予防・日常生活支援サービス(以下、「生活支援」という。)は、住民ボランティアがゴミ出しや掃除等の簡易な支援を提供できるもので、花巻市においてはシルバー人材センター等の民間事業者による「訪問型サービスA」と地域団体等による「ご近所サポーター事業」の2つを実施している。</p> <p>ご近所サポーター事業は、石鳥谷では平成29年度の開始当初から八日市と八幡の2地区において取り組んでいただいている。市内全域では、他に宮野目地区、太田地区、笹間地区、大迫の亀ヶ森地区、矢沢地区の一部の高松行政区の合計7地区で取り組んでいる状況。</p> <p>生活支援を担うボランティアは年々増えており、平成31年3月末現在で市全体では201名、石鳥谷地域では40名でうち好地地区は14名の方が住民ボランティア養成研修を受講している状況。</p> <p>現在、生活支援の利用者・取り組み団体ともまだ少ない状況であり、利用者が従前からのサービスを引き続き利用しているのが1番の要因と考えているほか、制度の周知が進んでいないことに加え、利用対象者が近所の方に迷惑を掛けたくないという、狭い地域の取り組みゆえの難しさもあると感じている。</p> <p>生活支援は、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が益々増え続ける中、住み慣れた地域で普通に暮らし続けるための住民同士の支えあいの仕組みであると同時に、ボランティアとして高齢者の社会参加が一体的に図れるもので効果があると考えている。</p> <p>なお、平成30年度から、ご近所サポーター事業に取り組む団体が除雪や自動車による買い物、病院等への付き添い等を新たに実施する際には、その運営費に対して市が補助を行う制度を創設し、地域ぐるみでの更なる取り組みを期待しているほか、地域団体の組織化についても引き続き支援していく。</p> <p>もうひとつの一般介護予防事業については、引きこもり防止のための通いの場を本年3月末現在で市内103箇所、石鳥谷地域は12箇所で開催している。内容は、介護予防効果があるという大阪の大東市で生まれた「元気でまっせ体操」を中心とした地域の自主活動の支援で、今後もこのような通いの場を中心とした介護予防活動を市全域に広めたいと考えている。</p> <p>実態としてあまり利用されていない。従前の介護施設から受けられるサービスの方が何となく安心だという人が多いこと、ご近所の方は頼み易いようで頼み難いということなど色々な理由があると思う。</p> <p>ただし、介護に従事する方が今後少なくなるのは間違いない。花巻市では、施設の担当者不足で受け入れができなくなったという話はまだないが、他の市ではでてきている。花巻市の高齢者のうち65歳以上は、そろそろ絶対数が天井についてきたが、75歳以上はこれからまだ10年以上増える。若い人の数が減る中で、75歳以上の方が増え介護需要が増えると、今までと同じように介護のヘルパーを確保できるとは思えないので、海外の人を引っ張ってくるなど色々な事を考えなくてはいけない。今、人気があるのがベトナムの方で非常に働き者、中国の沿岸部は金持ちになったので日本に来て安月給で働かない、上海は明らかに日本よりも豊かで、シンガポールは1人当たりGDPが日本の2倍などの状況のほか、あとはここに来て日本が伸びていない。相対的に見て貧しい日本に今後も来てくれるか、10年後どうなのか疑問である。特に東京は10年後とんでもない状況になっている。田舎の方がまだ良い方で、将来的にボランティアと言いつつ、お金を払いご近所の方にお世話いただくシステムが必要になる。今現在は利用者が少ないが、介護施設を使うより安いと分かっていたら、少しずつ利用を進めていくしかないのが今の状況だと思う。</p> |

| 番号 | 年月日 | 種別 | 地区名 | 担当部 | 担当課 | 参加者発言趣旨 (タイトル) | 内容(要旨) | 懇談会での回答(現状・取り組み状況等) |
|----|---------|-------|-----|---------|----------|-----------------------------|--|---|
| 6 | R1.5.27 | 市政懇談会 | 好地 | 健康福祉部 | 長寿福祉課 | 介護予防・日常生活支援総合事業について② | 先程説明にあった好地地区のボランティア研修受講者は14名とのことだが、今年度の研修時期を尋ねたところ、今年度は4地区で計画しており、石鳥谷地区は2月の予定とのこと、とても消極的な印象である。 好地地区のサービス利用を賄うには、40～50名のボランティアが必要と考えており、今年度も積極的に各行政区から複数名の研修受講の協力をお願いをしよう検討しているが、2月の開催であれば、それから有償ボランティアが出来たとしても、次年度でなければ組織的な活動が出来ないと感じている。 また、ケアプランナーのプランに基づいて事業を展開するので、事務方も育成しないといけないのではないかと考えているので、もっと積極的に研修会を開催して欲しい。 | ご意見ありがとうございます。本年度については、委託先の都合もあり、石鳥谷地区は来年2月の開催である。開催時期については、検討させていただきます。 この研修を受講された方々で組織化されている団体はまだまだ少なく、昨年ですが、研修を受講してもボランティアに参加出来る機会が少ないという意見を頂いたことから、研修受講者に集まっていたり、組織の立ち上げ等の話合いやご意見を聞く機会を設けた。その中でボランティアの方々自身での組織化について、先行事例の紹介もしながら、実際に立ち上げをしていただける様に考えており、このような機会を今年も開催したいと考えている。 |
| 7 | R1.5.27 | 市政懇談会 | 好地 | 石鳥谷総合支所 | 石鳥谷地域振興課 | 道の駅いしどりや再編基本構想・基本計画の概要について① | 道の駅「石鳥谷」施設再編基本構想・基本計画の概要を伺いたい。また、この再編によって地元へのメリットは何かを伺いたい。 | 道の駅の再編整備については、検討を始めた当初、南部杜氏伝承館の内部改修と酒匠館等各施設の有効利用を図る事からスタートしたが、専門家等の意見や道の駅「石鳥谷」のあり方を考える市民ワークショップを通じ、駐車場やトイレなど国が設置管理する施設も含む道の駅全体の再編について考えていくことが望ましいとの結論を得たことから、道の駅「石鳥谷」の設置者である国土交通省の指導・協力を頂き、施設再編の基本指針となる「道の駅「石鳥谷」施設再編基本構想・基本計画」を策定することとして、現在作業を進めている状況である。 道の駅「石鳥谷」の主な課題は4つ。①国道4号線から道の駅施設が見えにくい、②トイレと物産施設が離れており施設間の回遊性が悪い、③施設が十分に活用されていない(例えば、りんどう亭大食堂が昼は使われておらず、団体客や夜の宴会にしか使われていないなど)、④駐車場やトイレの数が不足している(国が設置管理しているトイレも老朽化が見られるほか、身障者や妊婦等向けのトイレが整っていないとの指摘もある)。これらの課題を解決する為に色々検討をしている。 今年3月に道の駅北側の山林部分を市が先行取得したが、今後、その土地を国が買い取り駐車場を拡張する事になっている。具体的には、現在の北側入口から100m程北側まで拡張しながら入口を移し、駐車台数の不足解消と国道4号線からの視認性向上を図る。 建物の配置は、伝承館の建物をりんどう亭大食堂の更に北側に曳家で移設し、その跡に国がトイレと道路情報発信館の建て替えを予定しているほか、酒匠館とりんどう亭大食堂の位置は現行どおりだが国道側に出入り口を設け、拡張する駐車場からの出入りを容易にする予定である。道の駅利用者の7～8割がトイレを利用するとの事なので、トイレから各施設にも行きやすくなる配置を検討したものである。 伝承館の内部は、酒造道具の展示の他に、杜氏が丹精込めて作ったお酒を試飲できるコーナーや展示・販売コーナーのスペースも検討しているほか、食堂を奥の大食堂に集約しながら、物産販売と産直を同じ建物と一緒にしながらレジの統一を検討している。 台湾や中国からのインバウンドに対応した外国人向けの各種表示も設置したいと考えている。 施設再編のメリットは、道路利用者をはじめ、観光面でインバウンドの拠点施設としてより多くの利用者・観光客が訪れることで、日本酒をはじめ南部杜氏の情報発信が強化されるほか、お酒をはじめ物産の販売強化による石鳥谷地域の知名度の向上が期待される。 市民の皆様にとっても、これまで以上に喜ばれ親しまれる施設になっていく事を期待しているところである。 |
| 8 | R1.5.27 | 市政懇談会 | 好地 | 石鳥谷総合支所 | 石鳥谷地域振興課 | 道の駅いしどりや再編基本構想・基本計画の概要について② | 南部杜氏発祥の地は紫波町だが、石鳥谷町は南部杜氏のふるさとという事でPRしている。当地区からも全国に杜氏が出稼ぎに行っているが、出稼ぎ先のお酒も試飲出来るようなコーナーを設けて頂ければ、杜氏さん方も大変喜ぶのではないかと考える。全国のお酒の販売・購入が出来れば1つのメリットではないかと考える。 | 市も同じ考えて、目玉になると考えている。南部杜氏伝承館の中身を具体的にどのようにするとか運営の仕方についてなど、市だけではなく南部杜氏協会の方々、地域の方々也十分に話し合っていないとされており、先日の南部杜氏自釀清酒鑑評会の祝辞で、南部杜氏の方々のご協力を頂きたいと述べた。 |

| 番号 | 年月日 | 種別 | 地区名 | 担当部 | 担当課 | 参加者発言趣旨 (タイトル) | 内容(要旨) | 懇談会での回答(現状・取り組み状況等) |
|----|---------|-------|-----|------------|--------------|---------------------------------|---|---|
| 9 | R1.5.27 | 市政懇談会 | 好地 | 石鳥谷総合支所 | 石鳥谷地域振興課 | 道の駅いしどりや再編基本構想・基本計画の概要について ③ | 私もあちこちの道の駅を巡っているが、最近定年し道の駅を巡っている夫婦がいるが、道の駅に仮眠室があれば良い。エンジンを掛けたまま眠ると環境上良くないのと、仮眠室があれば、日本酒を試飲して次の日に石鳥谷を散策してもらいたい。キャンピングカーも停車するので、電源も用意してもらおうと思う。 | 南部杜氏伝承館を曳家で北側に移設しながら「広場」を整備したり、食堂を大食堂の方に集約するなどを予定しているが、市が新しい施設を作る計画は無い。国の方は、働きかけの中で、予算化も含め一気に進展した。ただし、国が実施する分についても限度はあるので、仮眠室を整備する話は無い。トラックの駐車場が足りないので拡張するが、大きなキャンピングカーのスペースまで作る事は考えられていない。 |
| 10 | R1.5.27 | 市政懇談会 | 好地 | 石鳥谷総合支所 | 石鳥谷地域振興課 | 道の駅いしどりや再編基本構想・基本計画の概要について ④ | 南部杜氏伝承館と道の駅に隣接している歴史民俗資料館とはた織り機が入っている農業伝承館の3施設は、中身が大して代り映えしなかったし、それぞれに入館料を払ったという話を聞いたことがあるので、分かり易く展示、案内して頂きたい。 | 歴史民俗資料館・南部杜氏伝承館・農業伝承館の3施設の共通入場券があるが、実際の利用状況は少ない。発言のとおり同じような展示であり、それぞれの管理者が教育委員会・石鳥谷総合支所と別なことも課題と認識している。歴史民俗資料館は階段を上がって入館するため車椅子の方が入れない、農業伝承館は主に機織りのサークル活動に使用されている。具体的には、運営方法も含めてこれから検討する。 |
| 11 | R1.5.27 | 市政懇談会 | 好地 | 建設部 教育部 | 道路課 教育企画課 | 通学路(市道石小東通学線)のロードヒーティング整備について | 石鳥谷小学校の東側の道路(市道石小東通学線)にロードヒーティングを整備して欲しい。現状は、坂が急でカーブになっていて、さらに杉の木が生い茂り暗く見通しが悪くなっている。今冬は雪が少なかったが、逆に少ない事によって凍結しやすく滑りやすくなっていた。私も転んでしまったが、他にも何人か転んで危ないとの話を聞いた。小学校の東側に2階建ての清光学園が移転新築し、子供達の通学路にもなっているの、お願いしたい。 それと、毎年落ち葉の問題がある。青雲台植物園(石鳥谷小学校校庭の東側に様々な木がある)の手入れもお願いしたい。 | 清光学園の南側の杉林は民有林で、清光学園でも暗くて困っており伐採して欲しかったようである。 例えば、頻繁に融雪剤を散布することで何とかならないか。ロードヒーターは物凄くお金が掛かるため、簡単に出来るものか建設部に確認し検討する。 小学校の通学路であれば国のお金が出やすいので、何とか出来ないか確認してみるが、それでもお金は掛かるので、厳しい状況ではある。 校庭の樹木の件は整備した方が良いのは分かるが、全部出来るものでもない。教育委員会へ相談していただきたい。公園は街中の景観に影響し、景観を良くする効果もある。公園によって街中を綺麗にしたいと考え、花巻駅の西側の材木町公園に芝生を張ることにしている。一気に出来ないが、少しずつ市内の公園を綺麗な公園にしていきたい。 7/1現在の状況 石鳥谷小学校の植物園については、下草の刈り払い実施済み。また、学校敷地内の枯れた木が道路側に倒れる可能性があるものについては、今後伐採する予定である。 |
| 12 | R1.5.27 | 市政懇談会 | 好地 | 石鳥谷総合支所 | 石鳥谷地域振興課 | 地域力低下への対応策について | 駅前通りの北側に位置している石鳥谷第2区は82世帯しかいなくなり、私の子供達の頃は子供が20~30人いたが、今は5人しかおらず超高齢化の地区になった。計算すると高齢化率は40%を超えていた。実際には、若い人の名前はあっても、住所を移転しないままの方もるので高齢化率はもっと高い。自治会や防災など様々な部分で高齢化による地域力の低下が凄く顕著になって来ている。 例えば、防災の事でいうと要支援の方が82世帯で15人が申込していますが、支援する人がいない。70歳以上で病気持ちの人が支援しなくてはいけない地区になっている。6月の地域の運動会では、チームが編成出来ない状態です。 地域力が低下し限界集落になるのではないかなと思っている。そこで歯止めをしていく時に、区画整理の道路の問題や住宅の問題等、総合的に関わってくるだろうし、市として総合的な対応策などこれからの考え方を伺いたい。 | 比較の問題になるが中心市街地で見ると1市3町の中では、石鳥谷が人口の減り方が少ない。駅前にも市有地があるので、これを何とか住宅地として活用出来ないかと考えている。民間の不動産屋も売れ行きが悪いという話だったが、良くなってきている。農協跡地の市有地やその南側の市有地は、土壌汚染があり、土壌改良をしなくてはならない。土壌改良にお金が掛かるが、土壌改良をしながらこの土地を住宅地として使っていたら、駅の東側にも沢山の人が住むようにしたいと考えている。 石鳥谷の中には宝峰跡地とか色々な土地があるが、どういう土地が空いているか調べながら、これらを利用出来ないかを考える必要がある。あくまで民間に開発してもらう事にはなるが、動向を真剣に見ていく必要がある。 盛岡の住宅地が南下してきて、矢巾や紫波の住宅地が埋まってきている。石鳥谷は盛岡まで電車で30分掛かるが、駅の傍であれば電車で通えるので、可能性はあると考えている。さらに、東芝メモリーが千人規模の工場を今建設中で、今後、2棟目、3棟目の工場建設もあり得る。石鳥谷は場合によっては電車で通えるので、その可能性も出てくる。それも睨みながら余り慌てず、様子を見ていきたい。 |